

実践活動事例

団体名 鶴岡市青少年育成市民会議

1 事業名 鶴岡市青少年ステージパフォーマンス

2 事業主体 鶴岡市青少年育成市民会議・鶴岡市青少年育成推進員連絡協議会
(事務局：鶴岡市青少年育成センター)

3 事業目的・経過等

次世代の担い手である高校生の、「生きる力」(活力)、「創り上げる力」(創造力)、「発表する力」(発信力)の三つの力を育むこと、希薄化しつつある地域社会との絆の強化を目的として、高校生の活動を広く地域住民に発表する文化イベントを実施するものである。本事業については、2011年に当市民会議と鶴岡警察署少年補導官との話合いから始まり、高校文化部の協力により、具体化されたものである。

4 実施状況

2011年の開始から今年で7回目向える。

第6回鶴岡市青少年ステージパフォーマンスの実施状況(昨年の実施状況)

①日時 平成28年12月11日(日) 10:00~12:00

②会場 鶴岡南高等学校 「鶴翔会館」 参加人数 300名

③内 容 (プログラム)

第一部 高校生対話会発表 田川地区高校生徒会代表 羽黒高校生徒会

【内容】田川地区の10高校の生徒会と少年補導員・育成関係者による意見交換会として、昨年9月に実施した「高校生対話会」の報告発表。

「コミュニケーション」をテーマとして、高校生と関係者の8班、100人によるグループワークの報告。

第二部 吹奏楽演奏 鶴岡南高校(吹奏楽研究会)

【内容】クラリネット四重奏、ディープパープルメドレー(ロック調)など6曲披露。

第三部 書道パフォーマンス 羽黒高校・鶴岡中央高校・鶴岡北高校

【内容】5m四方の用紙に、結(ゆい)をテーマとした書道パフォーマンスを披露。

第四部 和太鼓 演奏 鶴岡中央高校(天魄太鼓部)

【内容】天魄太鼓は、旧温海高校・鶴岡中央高校温海校から引き継がれたもので、全国大会出場校の心に響くダイナミックな演奏を披露。

【対話会・ステージパフォーマンスの感想】

- ・ 普段話すことのない他校生や異世代の方々と話し合えて、とてもいい経験をした。
- ・ 話し合いの結果を全校生へ報告し、地域に貢献できる学校にしたいと思った。
- ・ もっと地域との繋がりを持ちたい、交流機会を増やしてほしい。
- ・ 高校生が地域で発表する機会はあまり多くなく、このような機会を頂けると生徒達も大変喜んでいる。

④パネル展示（活動報告周知） 鶴岡市役所入口ホール 1月16日～22日

5 実績・成果

本事業は、2011年から継続し、今年で7回目となる。大勢の育成関係者が見守るなか、田川地区の全高校が関わる本イベントへの参加により、高校生の活力・創造力・発信力が育まれているものである。また、自治会、PTA、育成関係者等が参加するこのステージパフォーマンスを通して、高校生が今後、地域と深く結びつき、郷土を愛し、将来の担い手として活躍することが期待できる。

6 課題、今後の対応

各学校においては、既に学事・部活動等の行事が多く組み込まれており、このような状況において、地域活動への参加は難しくなっているように感じている。今後も、地域活動の重要性について、事業趣旨や参加協力など啓発を図っていかねばならない。